

立石科学技術振興財団

〔国際会議発表〕

発表研究者	和歌山大学 博士後期課程 渡辺 果歩	2162005
参加会議	SPIE Commercial + Scientific Sensing and Imaging	
出張期間	2016年4月16日～4月23日	
開催場所	ボルチモア USA	
発表論文	Incoherent holography by a Michelson type interferometer with a lens for a radial shear ラディアルシアのためのレンズを導入したマイケルソン型干渉計によるインコヒーレントホログ	

概要：

本国際会議に参加する目的は、インコヒーレントホログラフィの記録手法を発表し、その研究内容に関して他の研究グループの研究者と議論をおこなうことである。本国際会議では、3次元イメージングやデジタルホログラフィ、ディスプレイ、センシング分野で活躍する企業や大学の研究者が一堂に会しているため、インコヒーレント光を用いたイメージングやデジタルホログラフィに関して活発に議論を交わすことができる。また、他の研究グループの最先端の研究動向・成果を知ることができ、今後、申請者の研究を進める上で有意義な情報を収集できる格好の機会でもある。

本国際会議に参加して得られた成果は、ホログラフィ・3次元ディスプレイ分野の研究者に申請者の研究成果を広めることができたことである。研究発表を通して、簡易な光学系を用い、品質の高い再生像が得られるインコヒーレントホログラフィの一手法として有用であることを示した。英語圏において初めてのポスター発表であったが、自分自身の研究を発表し、他の技術者と議論を交わすことができたことは自信になった。

また、本国際会議に参加する機会を利用し、ジョンズ・ホプキンス大学モンゴメリーキャンパスを訪問、G. Brooker 教授の研究室を見学し、インコヒーレントホログラフィを用いた顕微鏡法について、今後の研究のための知見を得ることができた。加えて、自分自身の研究内容の紹介もおこない、議論を通じて、国際交流をおこなった。

本国際会議に参加して得たものは多く、インコヒーレントホログラフィの研究を進める上で良い刺激となった。本国際会議に参加するためのご支援を頂いたことに心より感謝致します。